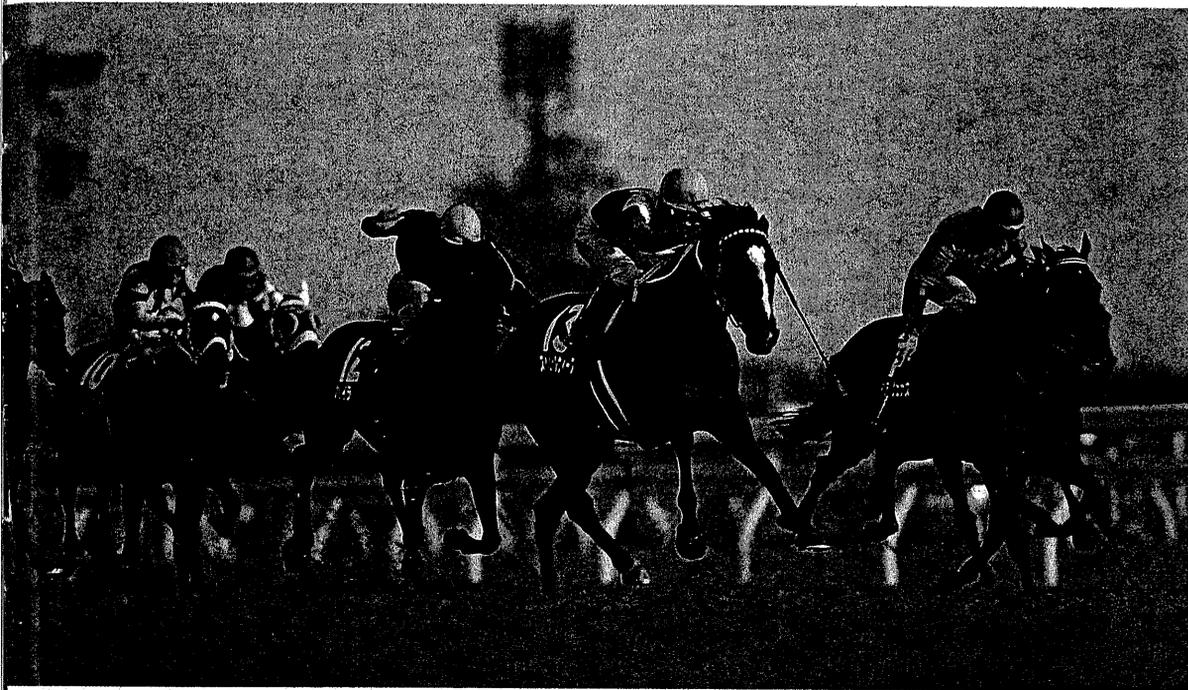


JPN CLASSIFICATIONS

'99JPNクラシフィケーション決定!

中央・地方・海外、289頭が格付けされる



モンジューを筆頭に、国内外の強豪がつどったジャパンCはスペシャルウィークが快勝

H.Watanabe

JRAハンデキャッパー(10名)
甲佐 勇 田辺 清一 牧村 憲治
古橋 明 大田 康二 久保 厚
西田 研 又野 一仁
蛭名 哲士 高木 辰夫
NARレーティング担当者(3名)
杉本 篤信
秋元 稔弥
相川 貴志

1

990年代最後の年であったこの年最大の話題は、ヨーロッパに遠征したエルコンドルパサーの活躍にあったといえよう。長年「強い馬づくり」を目標としてきた我が国の競馬にとって、前年98年に2週連続海外GI制覇という快挙を見たことは一つの達成感を与えるものであったが、この年エルコンドルパサーがフランスにおける4戦で示した日本調教馬のレベルの高さは、我々

日本人のみならず、世界の競馬人の心を強く揺さぶるものであった。このことは、後述するインターナショナル・クラシフィケーション会議でも窺えるが、2年連続した日本調教馬による国際舞台での活躍が、我が国における競馬のレベルを世界に認知させた効果は計り知れないものがある。

もとよりエルコンドルパサーには、芝・ダートを開かない素質の高さが見られ、4歳でジャパンCを制するなど距離適性の幅広さも証明していたことから、海外においても活躍できる予感があった。98年の4歳時に与えられた126ポンドという彼のレートがまさに国際的な評価を表している。しかしながら、彼の評価を決定的にしたものは、この年におけるフランスの4戦であり、なかでも凱旋門賞におけるモンジューとのマッチレースであった。

このレースにおける彼のパフォーマンスは、最終的に134ポンドという評価に決したが、このレートは歴代の凱旋門賞馬と比較しても遜色のない超一流馬の証となった。98年におけるインターナショナル・クラシフィケーションのリーディングが131ポンドのスキップアウェイであり、芝部門のトップが130ポンドのインテイク、129ポンドのウェイブであったことを想起すれば、今季の彼がいかに高い国際評価を得たかが分かる。彼以上の評価を得たのは135ポンドのデイラミ、モンジューの2頭のみであった。

今後ますます日本の競馬が世界から注目されるであろうことは、想像に難くない。

1999年のインターナショナル・クラシフィケーション会議は、12月14日から同21日までローマで開催され、イギリス、アイルランド、フランス、ドイツ、イタリア、米国および日本を代表するハンデキャッパーが参集(香港、オーストラリア、カナダ、ドバイの4カ国がオブザーバー参加)して協議。1110ポンド以上にランクされる馬のレーティングについて検証し、各馬のレートが決定された。今季数多く行われた主要競走の中で、最も

多くの時間を割いて議論された対象が凱旋門賞。そしてジャパンCであった。

チャンピオン・デイスタンスともよばれる「Long」(2200m〜2800m未満)において欧州競馬の総決算である凱旋門賞は、最悪という不良馬場を舞台に行われた。馬場状態を理由に直前まで出走を躊躇していたデイラミを含め、多数の高いレートを持つ有力馬が参加したものの、結果はモンジューとエルコンドルパサーの一騎打ちとなった。

会議では、上位2頭のパフォーマンスを高く評価するものの、レートの位置づけについて各国の意見が分かれ、クロコルージュ、タイガーヒル、ボルジアあるいはグリークダンスといった馬たちのレースぶりが検証された。クロコルージュの他はほとんどの馬が能力を十分には発揮していないという見解から、上位馬の位置づけが難しいとされたのである。

各国のハンデキャッパーが提案したレートには最大3ポンドの差異があったが、協議の結果、勝ち馬のモンジュー135ポンド、エルコンドルパサー134ポンドと決定した。凱旋門賞では能力を発揮できずに終わったデイラミが、キングジョージVI&クイーンエリザベスで130ポンド、ブリーダーズカップ・ターフで128ポンドに評価されていることから、「Long」においては上記の2頭が傑出していると評価された訳である。

エミレーツ・ワールド・シリーズの初代チャンピオンに輝いたデイラミは、Intermediate(1900m〜2200m未満)において最大能力を発揮し、9馬身差の圧勝劇を演じた愛チャンピオンSで135ポンドの評価を得た。

今回の会議では、今季のクラシフィケーションのリーディングはいずれも他を凌ぐ根拠に乏しく(換言すれば、いずれも極めて高い能力を示したものと)、Iではデイラミ、Lではモンジューがそれぞれの距離で135ポンドというリーディングを占めることとなった。またジャパンCの評価も多くの時間を割いた議論となったが、このレースも高いレートを持つ有力馬がいずれも能力を発揮できずに

敗れたため難しいとされたものである。

議論の対象は、勝ち馬であるスペシャルウィークとグラスワンダーの関係、ラスカルズズカと他の4歳馬との関係から4歳馬の比較論としてナリタトップロードとアドマイヤベガ(両馬は国際競走に出走していないため、レーティングの対象とはならないが)のレーティングまで及び、各国のハンデキャッパーが日本の競馬によせる関心の高さと、国内調教馬に限定されたレースまでその競走成績を把握している事実には驚かされるものがあった。

議論の主流としては、直接対決の宝塚記念で完敗しているスペシャルウィークがグラスワンダーのレーティングを上回ることがあり得ないこと、これまで最高のレーティングとして116を持つインディジエナスの評価が、彼の最高のパフォーマンスと認めつつも120に達するものではないことであった。

半日に及んだ議論の未決定したレーティングはスペシャルウィーク123ポンド、宝塚記念におけるグラスワンダー123ポンドと並びとなったのである。国際会議の後施行された有馬記念においてハナ差敗れたスペシャルウィークであるが、彼が今季に残したGI3勝の実績や有馬記念での接戦を見ても妥当なレーティングであると考えられよう。

今季日本国内で施行されたレースの中では、両馬の123ポンドがトップである。

その他、Mile(1400m)1900m未満ではクインエリザベスII世Sを圧勝したドバイレニアムが127ポンド、Sprint(1000m)1400m未満ではジュライCとナンソープSを制したストラヴィンスキーが127ポンド、Extended(2800m以上)では英セントレジャーを制したムタファエクが123ポンドと、いずれも4歳馬がトップレートとなった。

5歳以上馬のレーティングは、Sprintがダイクット120ポンド、Mileがゴールドアウェイ123ポンド、Intermediateがテイラミ135ポンド、Longがエルコンドルパサー134ポンド、Extendedがカイフアラ122ポンドとなった。

一方、ダートでは、4歳のリーディングがケンタッキー・ダービーとブリークネスSの二冠を制したカリスマティックで125ポンド、5歳以上のリーディングはミスターブレスターと並ぶトトラックレコードでブリーダーズCスプリントを快勝した他、GI1フォレストヒルズHで圧勝劇を演じたアータックスが130ポンドという結果となった。

なお、先に触れた以外の日本馬では、安田記念とマイルチャンピオンシップを制したエアジハードが119M、毎年堅実なパフォーマンスを見せるステイゴールドが天皇賞(秋)2着を評価されて119I、アペイユドロンシャン賞を優勝したアグネスワールドが117S、スプリンターズSでそのアグネスワールドを破ったブラックホークが同じ117S、天皇賞(春)2着のメジロブライトが117Eなど、5歳以上馬で22頭、4歳馬で6頭の計28頭の日本調教馬がインターナショナル・クラシフィケーションに記載された。これは前年を2頭上回るものであり、5歳以上馬におけるレーティングの平均数値も150ポンド上昇している。日本馬の実力と国際的評価が着実に上がってきている証左となる。

※文中の数字はレート(ポンド)、アルファベットは距離コラムを表す。

さて、98年から中央・地方を問わず交流重賞出走馬すべてをレーティングの対象としたJPNクラシフィケーションであるが、我が国のクラシフィケーションもインターナショナル・クラシフィケーションと同じ基準で作成されたレーティングに基づいており、国際的に整合した形をとっている。

ここで付言しておきたいことは、インターナショナル・クラシフィケーションに記載される馬の条件が110ポンド以上の評価を得た国際競走出走馬であるということだ。したがって、4歳馬の多く、3歳馬の全てが対象とならない。国際競走出走したステインガーやラスカルズズカはインターナショナル・クラシフィケーションに記載されたが、テイ

エムオベラオー、アドマイヤベガ、ナリタトップロードという4歳三強といわれた馬たちは記載されないという訳である。

但し、彼等三強をはじめ未掲載馬が国際的に評価されないと言う短絡的理解は正しくない。そもそも、インターナショナル・クラシフィケーションとは、国際的に認知された競走出走した競走馬の能力格付けを行うことであり、その主たる目的は、広く競馬に関するプロモーションを行い生産の指標を提供する他、競走の格付け、国際競走出走する馬の選考を行うことにある。したがって、国内限定レースの格付けや国際競走出走していない馬のレーティング等、国際格付けを必要としないものは記載しないというスタンスなのである。

一方、JPNクラシフィケーションの目的も基本的には同様であるが、我が国における生産や競走の指標とするものであって、指標としてはより多くの頭数を掲載することが望ましいことから、100ポンド以上に格付けされた全ての馬をクラシフィケーションの対象としている。これら

はオフィシャルなものであって、仮にインターナショナルでは未掲載の馬が海外の国際競走出走する場合には、これらのJPNレーティングが尊重されることとなる。インターナショナル・クラシフィケーションと整合しているゆえである。

以下、1999年JPNクラシフィケーションについて紹介しよう。

《JPNクラシフィケーション》

- (1)対象馬
JRA及び地方競馬に所属する日本調教馬でJRAの競走、ダートグレード競走、または海外の重賞競走出走した馬で、100ポンド以上の評価を得た馬、および国際競走出走した馬。
- (2)年齢区分
3歳、4歳、5歳以上の3区分(芝・ダート別)
- (3)距離区分
S(1000m~1400m未満)Sprint
M(1400m~1900m未満)Mile
I(1900m~2200m未満)Intermediate
L(2200m~2800m未満)Long
E(2800m以上)Extended
※ただし、3歳馬については距離区分をしない。
- (4)評価単位
ポンド(キログラム併記) ※1ポンド=0.4536kg

《レーティングとクラシフィケーション》

レーティングとは「位置づけ」、クラシフィケーションとは「格付け」の意味。似たような意味合いだが、個々の馬が個々の競走で示したパフォーマンスを指数評価したものがレーティングであり、年度ごとに比較される各馬の序列の中で最終的に距離別に格付けする作業およびその結果をクラシフィケーションとよぶ。レーティングの集合体がクラシフィケーションであるといってもよい。

3歳芝

牡馬は混戦、牝馬はヤマカツスズラン

100ポンド以上のレーティングを獲得したのは33頭。重賞優勝馬に無敗でシーズンを終えた馬は見当たらないという、例年になく各馬の力が拮抗した3歳芝戦線。朝日杯3歳Sの勝ち馬エイシンプレストンが、現時点でナンバー1の座に就いた。重賞2連勝を飾った98年アドマイヤジョージンには及ばないものの、97年のグラスワンダーに次ぐ2番手評価

だったキングヘイローと同じ111ポンドに決定した。

朝日杯3歳Sでハイペースの中、先行して2着に粘った地方競馬・笠松のレジエンドハスターが1ポンド差で続く。2000年もぜひ芝の舞台で、その快速ぶりを披露してほしい。東京スポーツ杯3歳Sの覇者ジョウテンブレイヴが108ポンド。朝日杯3歳S3着

の外国産馬マチカネホクシンは107ポンド。新種牡馬サクラチトセオ産駒のラガーレグルスは、重賞勝ちを収めたラジオたんば杯3歳Sが例年に比べ小粒なメンバー構成であり、105ポンドにとどまっている。

混戦模様様の牡馬陣と比べ牝馬戦線は、4頭の重賞ウイナーが揃った阪神3歳牝馬Sを好タイムで快勝したヤマカツスズランが傑出している。朝日杯3歳Sと阪神3歳牝馬Sのメンバー構成などを考慮し、110ポンドという高い評価で、これは98年ステインガー、97年アインブライドを凌ぐ数値である。以下、阪神3歳牝馬Sでハナ差の2着争いを演じたゲイリーファンキーとマヤノメイビーが106ポンドで並ぶ。

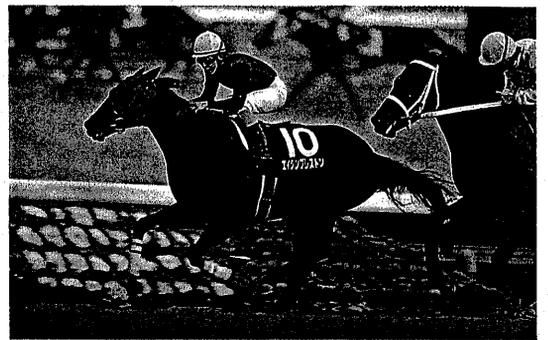
99年の3歳戦全体を振り返ると、地方所属馬の奮闘がとくに目立った。95年2勝、96年1勝、97年5勝、98年3勝だった指定交流競走における地方馬の勝ち鞍が、99年は12勝と数を伸ばし、レジェンドハンターやエンゼルカロといった中央重賞勝ち馬も誕生した。こ

3歳ダート

徐々に路線体系確立が進む

競走体系が完全に整っているとはまだ言い難い3歳ダート路線だが、兵庫ジュニアグランプリが新設され、このレースと北海道3歳優駿から12月の全日本3歳優駿へとローテーションが取れるようになった。これは、有力馬の路線体系が確立されていくうえで良い兆しといえるだろう。

この部門でずば抜けて高い評価を受けたのが、全日本3歳優駿の勝ち馬アグネスデジタルだ。97年アグネスワールドが記録した走破タイムを0秒6上回る好時計で、アドマイヤ



3歳トップレートはエイシンプレストン。また、99年3歳戦線は地方馬の活躍も目立った

れは、交流競走数の増加による要因が大きいが、開始して5年が経過し、関係者に幅広く浸透してきたことの現れともいえるだろう。

タッチとタキノスペシャルの重賞ウイナーを下したことから、105ポンドという高い評価が与えられた。以下、重賞競走には未出走ながら、対戦相手、レース内容が評価された

4歳芝

皐月賞馬テイエムオペラオーがトップレートをینگ

5歳世代のレベルが高く、古馬との混合重賞ではわずか4勝(うちダート1勝)と苦戦を強いられた99年の4歳世代だが、クラシック上位馬のレベルは決して低いわけではない。

アドマイヤベガ、テイエムオペラオー、ナリタトップロードの三強が好勝負を繰り広げ、3つのタイトルを分け合った牡馬三冠路線。なかでも3頭がそれぞれの能力を存分に発揮したダービーは走破タイムも優秀であり、見

1999年JPNクラシフィケーション(3歳)

レーティング	キロ	馬名(生産国)	性別	年齢	血統(父/母)	所属
111	50.5	①エイシンプレストン(米)	牡	3	Green Dancer Warranty Applied	
110	50.0	ヤマカツスズラン	牝	3	ジエイドロボリー アジノタカコマチ	
		②レジェンドハンター	牡	3	サクラダイオニ サクラソフティ	笠松
108	49.0	③ジョウテンブレイヴ	牡	3	ダンシングブレイヴ タクノギヤル	
107	48.5	④マチカネホクシン(米)	牡	3	Runaway Groom Hula Colony	
106	48.0	⑤ゲイリーファンキー(米)	牝	3	Theatrical A Little Kiss	
		⑥ダイワカーソン(米)	牡	3	Carson City My Marchesa	
		マヤノメイビー	牡	3	Misaki エヴァソニードリー	
105	47.5	⑦アグネスデジタル(米)	※	牡	Crafty Prospector Chanecy Squaw	
		⑧ラガーレグルス	牡	3	サクラチトセオ レインボーパーク	
104	47.0	⑨チアズグレイス	牡	3	サンデーサイレンス チアズフラワー	
		⑩チネシーガール(米)	牝	3	Pine Bluff Java Magic	
		⑪ベルグチケット	牝	3	ウイニングチケット ベルグストーム	
103	46.5	⑫アールリングアクト	牡	3	End Sweep チャーミングフェアノ	
		⑬エンゼルカロ	牡	3	スターオブジョーン ヤマフノーザリー	北海道
		⑭オースミコンドル	牡	3	コマンドーインナーフ アラホトク	
		⑮トップコマンドー	牡	3	コマンドーインナーフ ファーストセーラ	
		⑯ノボジャック(米)	牡	3	French Deputy Flight of Angels	
		⑰マイルコンドル	牡	3	ロドリゴデトリアーン ビックコンドル	
102	46.5	⑱ウォーターボリス(米)	牡	3	El Prado Sin for Me	
		⑳スキノエクセル	牡	3	メジロライアン ノーザンビーム	
		㉑チトセシャンハイ	牡	3	シャンハイ モガミドーター	北海道
		㉒マタラミツル	牝	3	メジロマックイーン パーサールート	
101	46.0	㉓アグネスデキシー(米)	※	牡	Southern Halo Desaucered	
		㉔エンドアビール(米)	牡	3	End Sweep Nany's Appeal	
		カーネギーダイアン	牡	3	カーネギー テイブエンジェル	
		スリーフォーナナ	※	牡	フォーティナナ タクキューバン	
		ヒダカサイレンス	牡	3	サンデーサイレンス タボナアンビション	
		マイネアメジスト	牡	3	スターオブジョーン マイネベルレ	
100	45.5	㉕アドマイヤタッチ	※	牡	ティンバーカントリー トルスク	
		㉖エアジャカル	牡	3	サンデーサイレンス アイドリームアドリーム	
		㉗グレイズヒーロー(米)	※	牡	Geiger Counter Green Eyed Kay	
		㉘ジーディーボス	牡	3	バラダイスクリーク アストレジャー	
		㉙ダイタクリーヴァ	牡	3	フジキセキ スプリングネヴァー	
		㉚スキノスペシャル	※	牡	スマコパクリック マウントクローリー	北海道
		ツルミカイウン	※	牡	キンググロリアス ヤマトアンサー	
		ピザノガルボ	牡	3	カーネギー ベルオブアマハースト	
		マイネルピテンダー	牡	3	スターオブジョーン マイネセラヴィ	
		ヤマニリスベクト	牡	3	サンデーサイレンス ヤマニシヤレード	
		ロスマリヌス	牝	3	サンデーサイレンス アンブロジ	

※印はダート・レーティング

(40頭)

未満)とEコラム(2800m以上)のふたつの区分で114ポンドをマークした。

例年に比べると、夏以降に力をつけてくる「上がり馬」の存在は少なかつたものの、春からの活躍馬に肉迫する成長を遂げたラスカルズカには注目しなければならぬ。菊花賞で3着、ジャパnCで5着と好走した両レースの内容には、ともに112ポンドが与えられている。

シーズンを通して三強が激突した牡馬クラシックと比べると、やや盛り上がりを欠いた感のある牡馬戦線だったが、個々のレベルは例年と比較しても遜色はない。なかでも、秋は果敢に天皇賞とジャパnCに挑戦し、天皇賞で4着と奮闘したステインガーには、クラシックホースを上回る113ポンドが与えられた。関係者のチャレンジ精神も大いに評価されるべきだろう。プリモディーネ、ウメノファイバーのクラシックホースにはともに110ポンド。109ポンドにはトウザウイック



H.Watanabe

M.Watabe

THE 1999 JPN CLASSIFICATIONS

1999年JPNクラシフィケーション(4歳・芝)

レーテック	キロ	馬名(生産国)	性	齢	血統(父母)	S	M	I	L	E	調教国
135	61.0	①男モンジュール(愛)	☆	牡	4 Sadler's Wells Floripedes					135	FR
119	54.0	②テイエムオペラオー	牡	4	オペラハウス ワンスウェド					119	
115	52.0	③アドマイヤベガ	牡	4	サンデーサイレンス ベガ					115	
114	51.5	④シンボリインディ(米)	牡	4	A.P.Indy Gaelic Tune					114	
		⑤ナリタトップロード	牡	4	サッカーボーイ フローラルマジック					114	114
113	51.5	⑥ステインガー	☆	牡	4 サンデーサイレンス レガシーオブストレングス					113	
112	51.0	⑦ラスカスズカ	☆	牡	4 コマンダーインチーフ ワキア					112	112
111	50.5	⑧アドマイヤカイザー(愛)	☆	牡	4 Rainbow Quest Alexandrie					111	
		⑨オースミブライト	☆	牡	4 ラストタイクーン タイセイカグラ					111	
		⑩ザカリヤ(英)	☆	牡	4 Zafonic June Moon					111	
110	50.0	⑪ウメノファイバー	☆	牡	4 サクラユタカオー ウメノローザ					110	
		⑫タヤスタモツ	牡	4	クリミナルタイプ ラシアンメアリー					110	110
		⑬フリモディーネ	牡	4	アフリート モンバリ					110	
		⑭メジロロンザン	牡	4	メジロライアン メジロリスク					110	110
109	49.5	⑮エイシンキャメロン(米)	牡	4	With Approval Above the Salt					109	
		⑯トウザウイクトリー	牡	4	サンデーサイレンス フェアリーロード					109	109
		⑰サイチエアデール	牡	4	サンデーサイレンス ラスティックベル					109	109
		⑱マイネルタンゴ	牡	4	ファストトパーズ アンバーオーカー					109	
108	49.0	⑲トロットスター	牡	4	ダミスター カルメンシータ					108	108
		⑳ベインテッドブラック	牡	4	サンデーサイレンス オークツリー					108	108
		㉑ロサード	牡	4	サンデーサイレンス ローザネイ					108	
107	48.5	㉒ゼンキャンドル	牡	4	モガミ フェセンズワン					107	
		㉓フロンタルアタック	牡	4	シンボリドルフ ミスジャクラ					107	107
		㉔レッドチリベッパー(米)	牡	4	Unbridled Raise a Carter					107	107
106	48.0	㉕クロックワーク	牡	4	リアルシヤダイ ケイワシマリオン					106	
		㉖バイオマスター(米)	牡	4	Strolling Along Welsh Garden					106	
		㉗ブラックタキード	牡	4	サンデーサイレンス オービーキャット					106	106
105	47.5	㉘ジュエリースード	牡	4	トニービン サファイアブルー					105	
		㉙シルクガーディアン	牡	4	ヘクタープロテクター カチタガール					105	
		㉚シンボリモンソー	牡	4	ダンスホール スイートクリスティ					105	105
		㉛ヒシビナクル(米)	牡	4	Theatrical Katies					105	
		㉜マイネルシアター	牡	4	オズタハワズ コーゴイチ					105	105
		㉝マチカネキンノホン(米)	牡	4	Seattle Slew Alys Belle					105	105
		㉞ワンダーファンダ	牡	4	フォティテン ラブリーニスター					105	
104	47.0	㉟エイシムルデンス	牡	4	サンデーサイレンス エイシムルデンス					104	104
		㊱コウヨウヒロイン	牡	4	ボリスキー ハルニダ					104	104
		㊲サヤカ(米)	牡	4	A.P.Indy Spectacular Sue					104	104
		㊳タイキトレジャー(米)	牡	4	Miswaki Royal Bride					104	
		㊴タイクラッシュ	牡	4	コマンダーインチーフ タイランラン					104	
		㊵ファイチビーム	牡	4	サンデーサイレンス エニクマ					104	104
		㊶マイネルバイエルン	牡	4	シルヴァーエンディング トーヨージョー					104	104
103	46.5	㊷エアザイン	牡	4	グリーンタンサー イメンス					103	
		㊸ビッグバイキング(米)	牡	4	Theatrical L'On Vite					103	103
		㊹マイネルブラチナム	牡	4	シルヴァーエンディング ゴールドオーキッド					103	
		㊺リワードハンギング	牡	4	ファンディナンド リワードフェザット					103	103
102	46.5	㊻インナーサクセス	牡	4	アフリート スケアヘッドライン					102	
		㊼ゴッドインチーフ	牡	4	コマンダーインチーフ ファーガスプロスト					102	102
		㊽サイキョウサンデー	牡	4	サンデーサイレンス サウヤカプリシセス					102	
		㊾タイキダイヤ(米)	牡	4	Ogygin Patently Clear					102	
		㊿トウカイダンディー	牡	4	サクラユタカオー トウカイジュノー					102	102
		①トウカイバルサー	牡	4	トウカイテイオー イングリッシュホーマー					102	
		②ピサノガレ	牡	4	ブライアンスタイル トロピカルサウンドII					102	102
		③ホットシークレット	牡	4	ハンディンクホーク スダガダシヨ					102	102
		④ヤマニンアクロ	牡	4	ヤマニンスキー ヤマニンクララ					102	102
101	46.0	⑤アストラルブレイズ	牡	4	トニービン アローシャルダン					101	
		⑥エイシムルベーン(米)	牡	4	Mi Cielo Mrs. Magnum					101	
		⑦エターナルビート(米)	牡	4	Pentelicon Double Wiggle					101	101
		⑧ステアーズマン	牡	4	ヘクタープロテクター フリニドレガッタ					101	
		⑨チウカイリョウガ	牡	4	サンデーサイレンス ポインテッドパス					101	101
		⑩ハグノスプレクター	牡	4	ヘクタープロテクター サベジレディ					101	
		⑪ブルーコマンダー	牡	4	コマンダーインチーフ ユキノローズ					101	101
		⑫マイネレジーナ	牡	4	サンデーサイレンス フミノスキー					101	
		⑬マルンゲファイター	牡	4	マーオブディスティンクション マルンゲタケバ					101	101
100	45.5	⑭イカルスドリーム	牡	4	アフリート プライ					100	
		⑮エイシムルウイング(米)	牡	4	Peteki Winelight					100	100
		⑯ケイアイジョン	牡	4	スリルシヨウ カネアオイ					100	
		⑰ドラゴンフライアン	牡	4	ブライアンスタイル マダムダンサー					100	100
		⑱フレンドリーエース	牡	4	タマモクロス スリーキャッセル					100	100

※☆印はインターナショナル・クラシフィケーションに掲載された馬

⑩馬についてはインターナショナル・クラシフィケーションでの数値を掲載

(68頭)

1999年JPNクラシフィケーション(4歳・ダート)

レーテック	キロ	馬名(生産国)	性	齢	血統(父母)	S	M	I	L	E	所属
108	49.0	①オリオンザサンクス	牡	4	ジャンハイ ミラノコレクション					108	大井
		②タイキヘラクレス	牡	4	イフソベイ サウンドビューティ					108	大井
107	48.5	③オペラハット	牡	4	オペラハウス アコニットローマン					107	大井
106	48.0	④キングデール	牡	4	キングクローリアス ユニオンデール					106	大井
104	47.0	⑤ゴールドディアラ(米)	牡	4	Seeking the Gold Bright Tiara					104	大井
		⑥サマーシャドウ	牡	4	ダミスター シルバーガーネット					104	大井
103	46.5	⑦イチコウタムキ	牡	4	スキャン シバノマイヒメ					103	大井
		⑧エイシムルイス(米)	牡	4	Conquistador Cielo Macharoundtheclock					103	船橋
		⑨カサイクローリア	牡	4	メジロライアン イシダスキー					103	船橋
		⑩マイシズン	牡	4	ホワイトマズル マダムボンパドール					103	船橋
102	46.5	⑪アドマイヤマンボ(米)	牡	4	Kingambo Fortunate Facts					102	岩手
		⑫ウツミトップガン	牡	4	ウイニングチケット リワードアンジェラ					102	岩手
		⑬スタージャンディア(米)	牡	4	Gulch Pampered Star					102	岩手
100	45.5	⑭シルバーサーベル	牡	4	アフリート サマーレッド					100	栃木
		⑮ベラミロード	牡	4	アレミロード ベラミスキー					100	栃木

(15頭)



4歳は有馬記念でも僅差の3着に入ったテイエムオペラオーが119ポンドで日本馬のトップ

4歳ダート

群雄割拠の4歳ダート戦線

春は各地域でチャンピオンを決める戦いを
行い、秋、それらの馬が交流重賞で激突する
という従来の構図が、GⅠのジャパンドルト
ダービーの新設にともない新たな展開を見せ
始めた。それぞれの地域におけるトップホー

99年の4歳ダート戦線は、前年のウイニング
私たちの交流が、春へと移行し出したのであ
る。2000年は園田にも春のGⅢが誕生す
ることで、交流のタイミングがより早まるこ
とになりそうだ。

アローのような抜けた存在は見当たらず、群
雄割拠の様相を呈した。そうした状況のなか
で地方所属馬としては初となる4歳交流GⅠ
ホースとなったオリオンザサンクスと、春の
中心勢力の1頭であり、秋にはダービーグラ
ンプリを制したタイキヘラクレスが108ポ
ンドで並んだ。この両馬に続くのが、ジャパ
ンドルトダービー2着のオペラハットで10
7ポンド。サラブレッドチャレンジCの勝ち
馬キングデールは、ダービーグランプリの2
着が評価されて106ポンドとなった。古馬
混合GⅢで勝利を収めた牝馬ゴールドティ
アラには104ポンドが与えられたが、これは
4ポンドのセックスアローウンスを考慮する
と、実質トップに並ぶ高い評価である。

1999年JPNクラシフィケーション(5歳以上・芝)

レーティング	キロ	馬名(生産国)	性	齢	血統(父・母)	S	M	I	L	E	調教国
134	61:0	⑧エルコンドルパサー(米)	☆	牡	5 Kingmambo Saddlers Gal						134
124	56:0	⑧タイガーヒル(愛)	☆	牡	5 Danehill The Filly						124 GER
		⑧ブルーツオブラブ(米)	☆	牡	5 Hansel Vallee Secrete						124 GB
123	56:0	⑧グラスワンダー(米)	☆	牡	5 Silver Hawk Ameriflora						123
		スペシャルウィーク	☆	牡	5 サンデーサイレンス キャンペンガール						123
121	55:0	⑧フレンドアハンド(英)	☆	牡	5 Great Commotion Jahaat						121 UAE/GB
119	54:0	⑧インディジェナス(愛)	☆	牡	5 Marju Sea Port						119 HK
		⑧エアジハード	☆	牡	5 サクラユタカオー アイシーゴールド						119
		ステイゴールド	☆	牡	6 サンデーサイレンス ゴールドデンサッシュ						119
		⑧ハイライズ(愛)	☆	牡	5 High Estate High Tern						119 UAE/GB
118	53:5	⑧ツルマルツヨシ	☆	牡	5 シンボリドルフ スイートシエロ						118
117	53:0	⑧アグネスワールド(米)	☆	牡	5 Danzig Mysteries						117
		⑧ブラックホーク(英)	☆	牡	6 Nureyev Silver Lane						117
		⑧ボルジア(独)	☆	牡	6 Acatanango Britannia						117 FR
		⑧メジロブライト	☆	牡	6 メジロライアン レールデュタン						117
116	52:5	キングヘイロー	☆	牡	5 ダンシングブレーヴ グッパイヘイロー						116
		セイウンスカイ	☆	牡	5 シェリフズスター シスターミル						116 116
115	52:0	⑧ムータティール(英)	☆	牡	5 Elmaamul Majmu						115 UAE/GB
114	51:5	⑧アンブラスモア	☆	牡	6 ランダムボンド クリスタルデュー						114
		シルクジャスティス	☆	牡	6 ブライアンスタイル ユーワメルド						114
		マサラッキ	☆	牡	7 マグニチュード ローズエンター						114
113	51:5	⑧オリエンタルエクスプレス(愛)	☆	騾	7 Green Desert City Fortress						113 HK
		⑧ゴイングスズカ	☆	牡	7 ダイナガリバー ダンシングスズカ						113
112	51:0	⑧マイネルラブ(米)	☆	牡	5 Seeking the Gold Heart of Joy						112
111	50:5	⑧スエヒロコマンドー	☆	牡	5 コマンドーインテーフ スエヒロジョウオー						111
		⑧ホッカイルソー	☆	牡	8 マクオデステイングション ホックイラブリ						111
		マチカネフクキタル	☆	牡	6 クリスタルグリッターズ アテナドウショウ						111
		⑧メジロドナルド	☆	牡	6 メジロライアン メジロビューティー						111
110	50:0	⑧シンコウフォレスト(愛)	☆	牡	7 Green Desert Park Express						110
		⑧ミッドナイトベット(米)	☆	牡	6 Housebuster Catherine's Bet						110
		メイショウオウドウ	☆	牡	5 サンデーサイレンス アルタナ						110
		ローゼンカバリー	☆	牡	7 サンデーサイレンス ダイナフェアリー						110
109	49:5	エモシオン	☆	牡	5 トニービン アドラーブル						109
		⑧キウエイマーチ	☆	牡	6 ダンシングブレーヴ インターシャルマン						109
108	49:0	⑧サイレントハンター	☆	牡	7 サンデーサイレンス ヒロポリス						108 108
		⑧シーキングザパール(米)	☆	牡	6 Seeking the Gold Page Proof						108 JPN/USA
		ダイワオーシュウ	☆	牡	6 リアルシャダイ ダイナジャネット						108
		ダイワテキサス	☆	牡	7 トロメオ ローデコルテ						108
		⑧ツクバシフォン(英)	☆	牡	7 Danehill Lyndonville						108
		テニッシュパイオ	☆	牡	7 リズム オットム						108
		ニッポーアトラス	☆	牡	6 マクオデステイングション クリンヒルハイ						108
107	48:5	⑧エガオラミゼテ	☆	牡	5 サンデーサイレンス カーリーエンジェル						107
		⑧エリモエクスセル	☆	牡	5 ロドリゴデトリアーノ エリモファンタジー						107
		⑧ファレノプシス	☆	牡	5 ブライアンスタイル キャットクイル						107
		⑧メジロランパート	☆	牡	5 メジロライアン メジログラフ						107
106	48:0	⑧エイシંગガイモン(米)	☆	牡	7 Seattle Dancer Meadow Mist						106
		ケイトウバイキング	☆	牡	7 アイシクルーム ロランジェリー						106
		⑧トキオパーフェクト(米)	☆	牡	5 Rahy Perfect Probe						106
		ビッグサンデー	☆	牡	6 サンデーサイレンス キタノオゴジョ						106
		フロモーション	☆	牡	6 ベクターブロテクター アサシオン						106
		⑧ロードフェイス(愛)	☆	牡	5 Fairy King Faiblesse						106
105	47:5	⑧アポテオース	☆	牡	6 Caerleon ラムールフ						105
		⑧ウィクトリーバンク	☆	牡	6 ドクターデヴィアス ライトバンク						105
		サンブレイス	☆	牡	6 サンデーサイレンス サンシャインステラ						105
		セイウニアリア	☆	牡	5 シェリフズスター ソフィアロー						105
		チェックメイト	☆	牡	5 シューティン コウマンサウド						105
		⑧ハイフレンドコード(米)	☆	牡	5 Tunerup Just a Trick						105
		⑧ブラボーグリーン	☆	牡	6 タイムスボット ブレイフウーマン						105
		⑧プリアントロード	☆	牡	5 ブライアンスタイル マリーティステイ						105 105
		⑧ミスズシャルダン	☆	牡	5 トニービン ゴールドユウマ						105
		⑧メジロステイード	☆	牡	7 メジロアルタン メジロチモン						105
104	47:0	⑧アメリカンボス(米)	☆	牡	5 Kingmambo Redeemer						104
		⑧インターフラッグ	☆	牡	7 ノーサンデース ナショナルフラッグ						104
		⑧ジムカーナ(米)	☆	牡	5 Stop the Music Merci Mon Frere						104
103	46:5	⑧アラバサン(愛)	☆	牡	7 El Gran Senor Kissagram						103
		⑧クリスザブレイド	☆	牡	6 ノーサンデース クリスザブレイド						103
		⑧タイキブライド	☆	牡	5 スリルシヨウ サブミッション						103
102	46:5	⑧エイシンペンセス(米)	☆	牡	6 Relaunch Telescopica						102
		⑧エイタイクイン	☆	牡	5 メジロマックイーン ユキノサンライズ						102
		⑧キノノスカーレット	☆	牡	6 ベクターブロテクター フェードエリカ						102
		⑧グリーンプレゼンス	☆	牡	5 ロドリゴデトリアーノ フローラルマジック						102
		⑧サウンドワールド(愛)	☆	牡	5 Indian Ridge Secret Sunday						102
		⑧シグナスヒーロー	☆	牡	8 イナリワン スワンスキー						102 102
		⑧シンボリスウォード(愛)	☆	牡	5 Green Desert Kenbu						102
		⑧スターレセプション	☆	牡	8 アレミロード ダイナセリモニー						102
		⑧テイエムトッキー	☆	牡	6 タマモクロス ソシアルメーカー						102 102
		⑧ニシノダイオー	☆	牡	8 サクラユタカオー ミソノサフライ						102
		⑧ヒカリサーメット(米)	☆	牡	6 Danzig Petalia						102
		⑧ポートブライアンズ	☆	牡	6 ブライアンスタイル ファンダリバー						102
		⑧マイネエルザ	☆	牡	5 サンキリコ スーパーエルザ						102
		⑧マーベラスタイマー	☆	牡	6 モガミ シマノリマンド						102
		⑧レオリュウホウ	☆	牡	5 ダンシングブレーヴ キヨヒホウ						102
101	46:0	⑧エイブキッドマン(米)	☆	牡	6 Woodman Querida						101
		⑧エリモソルジャー	☆	牡	5 サンデーサイレンス エリモソルジャー						101
		⑧カネトシガバナー	☆	牡	5 アンバーシャダイ カネトシグイン						101
		⑧ショウナンハピネス(加)	☆	牡	5 Kris S. Rambling Barb						101
		⑧シンカイウン	☆	牡	8 シンチエスト シンミスプラウン						101
		⑧ダイタクカミカゼ	☆	牡	7 ジェイドロバリー ネウアーイチバン						101
		⑧ダイワカーリアン(仏)	☆	牡	7 Caerleon J'ai Deux Amours						101
		⑧ナリタルナパーク	☆	牡	5 ブライアンスタイル ルナパーク						101
		⑧フローアドアビール(米)	☆	牡	6 Broad Brush Valid Allure						101

5歳以上 芝

エルコンドルパサーが古馬Lコラムで世界トップ

99年の古馬戦線を振り返るうえでまず挙げられるのが、長期遠征したフランスで素晴らしい成績を残したエルコンドルパサーである。Lコラム(2200m)と2800m未満)における海外G1制覇は、日本馬が初めて海外遠征してからの、40年来の悲願ともいえるものだった。2着に敗れたとはいえ、モンジュエーと一騎打ちを演じた凱旋門賞のパフォーマンスには、国際クラシフィケーション会議で134のレーティングが与えられた。これは日本の競馬史上最高の評価となり、また歴代凱

旋門賞馬と比較しても遜色のない数字で、99年度では世界トップ3入りを果たし、古馬のLコラムでは世界NO.1の評価である。幾多の関門を乗り越え、より高いレベルに挑戦し続けた姿勢は、通算11戦8勝2着3回という輝かしい成績とともに賞賛に値する。さて、国内で争われたレースに目を転じると、スペシャルウィークとグラスワンダーの2頭が中長距離戦線の中心となった。春秋の天皇賞を連覇し、ジャパンCも完勝するなど、年間を通して主役を演じたの

がスペシャルウィークだ。モンジュエーをはじめとする世界の強豪を一蹴したジャパンCの内容を重視し、98年のサイレンススズカを上回る123ポンドに決定した。ちなみに別表には表れていないが、I、Eと、2つのコラムで最高値をマークしている。そのスペシャルウィークとの直接対決を2戦2勝で終えたのが、春秋のグランプリホース・グラスワンダーだ。とりわけ、スペシャルウィークを並ぶ間もなく抜き去った宝塚記念のパフォーマンスは高い評価を受け、スペシャルウィークと並ぶ123ポンドが与えられている。ライバルたちが競走生活を終えていくなか、この馬は2000年も現役続行、そして海外遠征も視野に入れているという。

さらなる活躍を期待したい。秋を迎えて本格化を果たし、有馬記念ではあわやの見せ場をつくったツルマルツヨシには、118ポンドが与えられている。この馬も強い5歳の1頭であるが、この世代は、Mコラム(1400m)と1900m未満)におけるエアジハード、Sコラム(1000m)と400m未満)でのアグネスワールドなどと、各分野でトップホースを輩出している。「トウショウボーイ・テンポイント・グリーングラス」の時代を「最強世代」と呼ぶことがあっても良いという見解で一致した。ハイレベルな5歳勢に押され気味だった6歳以上の世代の馬たちだが、そんななかで存

THE 1999 JPN CLASSIFICATIONS

レーティング	キロ	馬名(生産国)	性	齢	血統(父・母)	S	M	I	L	E	調教国
		マイネルマックス	牡	6	ブライアンスタイル サクセスウーマン	101					
		⑨マリアジュダムール(仏)	牡	6	Groom Dancer Eloura				101		
		マルカコマチ	牝	5	サンデーサイレンス ナショナルフラッグ	101					
		レガシーハンター	牡	5	Nureyev スペシャルセクレタリー	101					
100	45.5	サクラアカツキ	牝	5	コマンドーインチェーフ サクラハツユキ	100					
		サンデーセイラ	牡	5	サンデーサイレンス アオイセイラ					100	
		サンライズアトラス	牡	6	ナスルエルアラブ ラブリーサンライズ				100		
		⑩ジェットアラウンド(米)	牡	6	Mr. Prospector Oscillate	100					
		⑩シンボリフェザード(英)	牝	7	Kaldoun Kamuniya				100		
		⑩タマモイナズマ	牡	6	タマモクロス タマモハッピー					100	
		⑩ツルマルガイセン	牡	6	ヤマニスキュー エプソムガール				100		
		ナリタブテクター	牡	7	ヘクタープロテクター ナリタレッドバード				100		
		リワードニンファ	牝	5	ロシアブルーブル アツブラウス				100		

※☆印はインターナショナルクラシフィケーションに掲載された馬 (104頭)
 ◎馬についてはインターナショナル・クラシフィケーションでの数値を掲載

1999年JPNクラシフィケーション(5歳以上・ダート)

レーティング	キロ	馬名(生産国)	性	齢	血統(父・母)	S	M	I	L	E	所屬
117	53.0	メイセイオペラ	牡	6	グランドオペラ テラミス				117		岩手
114	51.5	ニホンピロジュータ	牡	5	オペラハウス ニホンピロクリア				114		
		ワールドクリーク	牡	5	マジックミラー ケイシユウハーブ				114		
113	51.5	アブクマポーロ	牡	8	クリスタルグリッターズ パンシューウェー				113		船橋
112	51.0	エムアイブラン	牡	8	ブライアンスタイル ユキゴニ				112		
		タイキシャロック	牡	8	ジェイドロバリー ヒラローズ				112		
111	50.5	オースミジェット	牡	6	ジェイドロバリー テンザンオトメ				111		
		⑩サブライズパー	牡	6	ミュージックタイム シノブモチズリ				111		船橋
		⑩スノーエンデバー	牡	6	キングハイセイコー スターランス				111		
110	50.0	⑩フワシントシラー(米)	牡	6	Black Tie Affair Jump With Joy	110					
109	49.5	⑩キョウトシナー	牡	9	サッカーボーイ マウンテンクイーン				109		
		⑩セレクトグリーン(米)	牡	5	Capote Damewood	109					
		⑩ファストフレンド	牝	6	アイネスフウジン ザラストワード				109		
		マチカネワラウカド	牡	6	スキヤン オオシマリアナ				109	109	
108	49.0	インテリパー	牡	5	ルシジョン インテリフラワー				108		川崎
		⑩シーキングザパール(米)	牝	6	Seeking the Gold Page Proof				108		
		⑩タスケーパーポイント	牡	5	アジリティケーティング ローリエブシケ				108		
107	48.5	ウイングアロー	牡	5	アサデイス サンヨウアロー				107	107	
		⑩ゴールドブルーフ	牡	5	ゴールドレット サンウーマン				107		名古屋
		⑩ナリタホマレ	牡	5	オースミシャダイ ヒカリホマレ				107		
		⑩マイター	牡	5	サクラチヨノオー フミノアミュージス				107		
		⑩マキバスマイヤー	牡	5	ベキンリュウエン スコールドキング				107		船橋
106	48.0	ゴールドヘッド	牡	5	シャードイー シバルレーン				106		大井
105	47.5	⑩アローセブンパー	牡	5	タイナガリバー ハーパーバード				105		船橋
		⑩デューティアーミス(米)	牡	5	Silver Deputy Icelette	105					
		ハカタビッグワン	牡	5	スラウィック コスモエフォート				105		笠松
		ピーマンカヤマ	牡	6	エプロス ビーマイファイア				105	105	
		メイショウモトナリ	牡	6	デレミロード ルハビー				105		
104	47.0	⑩ショウナンダンディ	牝	7	ホリスキー メイジオリンピア				104		
		⑩シンコウフレンド(米)	牡	6	Dayjur Over Your Shoulder				104		
		テセウスフリーゼ	牡	8	ジェイドロバリー ユウズルビメ				104		
103	46.5	⑩ストーンステッパー(米)	牡	7	Crafty Prospector Cassadaga	103					
		ダイヤモンドコア	牝	5	ジェイドロバリー ライフポート				103		川崎
		チェイスチェイス	牡	6	スリルシヨウ マルゼンモンク				103		新潟
		ノーザンウェー	牡	6	ノーザンテースト マイフェイバリット				103		
		⑩バルライン(米)	牡	7	Ovggian Line of Thunder				103		
		⑩パリスナボレオン	牡	9	メジロディクソン メジロキヤニオン				103		北海道
		パンチャン	牡	7	マラキム カネアサノ				103		岩手
		⑩ピコミニスター(米)	牡	6	Silver Deputy Roger Dodger	103					
		⑩マジックゲーム	牡	7	シンボリドルフ サムミアマジック				103		
102	46.5	⑩ゲイリーマグナム(米)	牡	7	Aflect Foolish Miz				102		
		サカモトデュラフ	牡	7	デュラフ サリアンシヤキ				102		岩手
		⑩ザフォア(米)	牡	7	Gone West Gambling Fool				102		大井
		⑩セントリック	牡	7	ミルコウジ コトブキトミオー				102		栃木
		チョウカイライジン	牡	7	ダンシングブレイブ マックスビューティ				102		
		ファンドリヨウマ	牡	7	モガミ ファンドリポポ				102		
101	46.0	⑩イソウイチナー	牡	6	クリスタルグリッターズ イソノブルー	101					
		シルバースワット	牡	6	ミナラ シライトヒカリ				101		北海道
		シンコウウィンディ	牡	7	デュラフ ローズコマンドー				101		
		⑩リワードタイタン	牡	8	ジャッジアンジェルー タップユアトウス				101		
100	45.5	⑩エビスヤマト	牡	5	アンバーシキダイ ドリームガバナー				100		新潟
		⑩ゲイリーゴドル(米)	牡	5	Aflect Breeze Lass	100					
		⑩コンメンダトーレ	牡	6	ヒゼンニシキ ダイナエッセ				100		
		セイエイソトツブ	牡	6	ナグルスキー ビーチタワー				100		笠松
		セタノキング	牡	9	キンググローリアス オキノサヤカ				100		
		⑩タイキレッド(米)	牡	5	Crafty Prospector Sapphire Breeze				100		
		タカノハハロー	牡	6	ダンスオブライフ コンニチワ				100		笠松
		タヤアンティーム	牡	5	トニーピン スカレットリボン				100		
		⑩バーンナリティワン	牡	6	アスワン エイジシマミー				100		
		ホームナスピリット	牡	7	ワッスルタッチ オオシマスラン				100		
		マジックリボン	牝	7	マークオブディスタクション ホリリボン				100		笠松
		ロックリズム	牡	6	クリミナルタイプ クインシヤトル				100		

(62頭)

これまではフエブラリーSと川崎記念が、3月に行われるドバイワールドCの出走馬選定において大きな意義を持つてきたが、2000年からは11月下旬に国際競走のジャパンCダートが新設される。海外からダートホースを迎え撃つこのレースが、ドバイへの新たな登龍門となることも最後に付記しておきたい。(奥岡幹浩・構成)



フランスでの秀逸な遠征実績で、日本競馬史上最高の134ポンドを得たエルコンドルパサー

K. Yamamoto

在感をアピールしたメジロブライトとステイゴールドには、それぞれ2着となった春秋の天皇賞の内容から117ポンドと119ポンドがつけられている。また牝馬では2年連続してエリザベス女王杯を制した6歳馬メジロドーベルが111ポンドでトップとなった。

さて短距離戦線に話を移すと、マイル部門では、安田記念とマイルチャンピオンシップを制したエアジハードに119ポンドがつけられた。これは98年のタイキシャトルには及ばないが、97年タイキブリザード、96年トロットサンダーを凌ぐ高い評価である。スプリント部門ではフランスG1のアイユードロンシャン賞を制したアグネスワールドが117ポンド。そのアグネスワールドをスプリンタ

ーズSで破った6歳馬ブラックホークにも、同評価となる数値が与えられている。この2

5歳以上ダート

新旧交代 メイセイオペラが頂点に

98年のチャンピオン・アブクマポーロが春先にリタイア。メイセイオペラとの再対決が見られなかったのは残念だ。また、長らく一線級として活躍してきたキョウトシナーも引退したほか、これまでダート界の主役を張ってきた馬たちに代わり、5、6歳の新勢力の台頭が目立った。99年の古馬ダート界は、世代交代の波が顕著に出た年だったといえる。

ダート部門での最上位に選ばれたのが、地方在籍馬として初の中央G1馬に輝いたメイセイオペラである。フエブラリーSを勝ち、さらに帝王賞を制して得た117のレーティングは、昨年のアブクマポーロと並ぶ高い数値だ。2番手には、マイルチャンピオンシップ南部杯を勝ったニホンピロジュータと、東京大賞典を勝ったワールドクリークの5歳馬2頭が114ポンドで並んだ。続いて川崎記念を制したアブクマポーロが113ポンド。フエブラリーSで2、3着に入ったエムアイブランとタイキシャロックが112ポンド。また、牝馬限定重賞を4連勝したファストフレンドは、牡馬に混じって2着に健闘した東京大賞典が高く評価され109ポンドとなった。